

## ★今月のテーマ クリスマスの星つてなんだろう？と部分日食を見てみよう

月のないよく晴れた晩には、私たちの隣の銀河アンドロメダ大星雲が肉眼でもぼーっと見られますが、その姿を望遠鏡や双眼鏡を使って見てみませんか？

また、ペガサスの四辺形を使って、秋の星座を私たちと一緒に見つけてみましょう。

今月の星座で紹介した三角座とM33も探してみませんか？

自分で星座が探せるようになると星を見る楽しさが倍増します。そして、双眼鏡や望遠鏡も使いやすくなります。旅行に出かけた時に星座や月の見え方の違いに感動することができます。知らない人よりちょっとだけ人生が豊かになりますよ。

12月14日～15日未明にピークを迎える双子座流星群ですが、今年は満月すぎの月明かりが有り条件は恵まれていません。流れ星を見たいなら12月23日のこぐま流星群で北の空で一晩中観察でき、月明かりもないのでチャンスです。

12月26日木曜日には日本全国で部分日食が見られます。名古屋での食分は0.372、15:33に最大になります。少しでも大きくかけている姿を見たいなら南西に移動しましょう。和歌山市で食分0.375、鹿児島市で食分0.386、沖縄県那覇市の食分は0.474です。

インドネシアやバリ島に出かけると金環日食が見られます。冬休みの海外旅行の行き先候補にあげてみるのも面白いかもしれません。(あっ、日食を見るために海外旅行って、天文クラブのスタッフのようなオタクお莫迦さんになっちゃうかも！?) もちろんカメラの望遠レンズや、双眼鏡・望遠鏡で直接覗いてはだめですよ、目がつぶれちゃいます。日本で観られた2009年7月の皆既日食、2012年5月の金環日食の時に手に入れた安全な日食グラスを使ってください。

持っていない方は早めにカメラやさんなどで購入してください。部分日食なのであまり出回っていないかも？

## ★次回の天文クラブ

### ●クリスマス星

12月21日(土)午後7時30分より  
オリオン大星雲の観察  
冬の星座観察

### ●1月の星を見る会

1月25日(土)午後7時30分より  
すばらの観察  
冬の星座教室

※観察時は冷えますので暖かい格好で来てください。

姫治地区センター  
岐阜県可児市下切 1530  
☎0574-62-0104

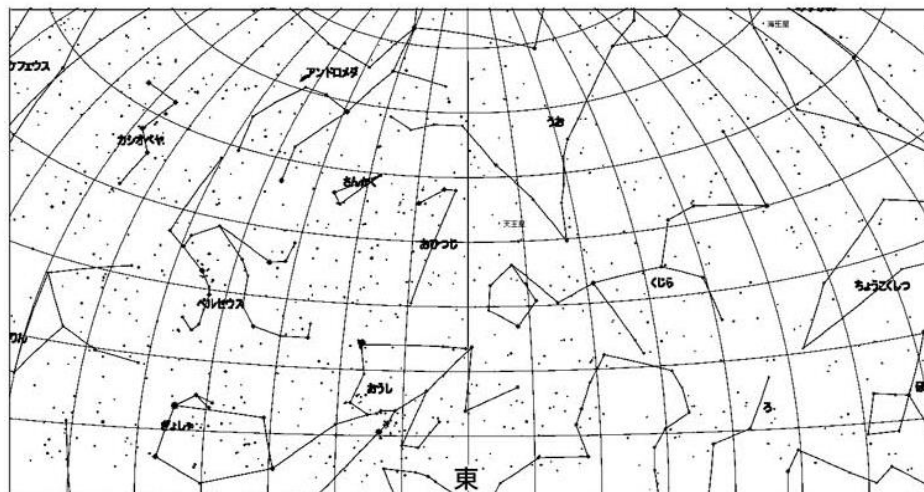
姫治天文台  
<http://himeziten.yu-yake.com/>



JR太多線下切駅より徒歩13分  
2019年12月1日発行

※観望会についてのお問い合わせは  
姫治地区センター (62-0104) まで

# 姫天だより



11月15日午後8時の東の空

12月号  
2019

## ★今月の星座さんかく座

そんな星座があるの？と思わず言いたくなる星座名ですが、そのまんまの星座です。星座絵としては三角定規が形どられたものなのですが、見つけられれば皆さんも「ああ確かにさんかく座だ」と感じてもらえると思います。

12月中旬の午後8時ごろ(晩秋から初冬にかけての夜更け)に、ほぼ頭の真上を見上げるとアンドロメダ座の左足の星の南で三つの星が細長い二等辺三角形を形作っているのが見つかりませんか？これがさんかく座です。3等星以下の星ばかりですが、この小さな三角形は昔からよく目につき、エジプト北部のアレクサンドリアの科学を講じて、「ナイルの三角州」と言われ象徴されていました。また、ギリシアでは、紀元前2世紀のヒッパルコスのことからトリゴノン(三角)として知られていました。

このような星座ですから神話はありませんが、アンドロメダ座の腰のβ星(ミラク)をはさんでアンドロメダ大星雲とほぼ対称の位置に鏡に写したように、M33(渦巻銀河)が見つかります。双眼鏡を使えば簡単に見つけられますので一度チャレンジしてみてください。